



川内たかゆき後援会便り

元気みなぎる通信

2022
夏号

川内たかゆき後援会

〒889-1802 宮崎県都城市山之口町花木 2253-6
TEL・FAX：0986（77）5298

＜3期目もしっかり働きます！皆様のご支援に感謝します！！＞

酷暑の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、川内たかゆき並びに後援会に対して多大なるご指導、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

令和4年を迎えた今年は、新年早々市議会議員選挙がおこなわれ皆様のご支援のおかげをもちまして、2753票をいただき3期目当選を果たすことができました。また、2月9日の臨時議会において副議長の大役（任期2年）を賜り、身の引き締まる思いです。落ち着いてきたコロナも再び増加に転じる等、一向に収まる気配を見せません。世界情勢ではロシアのウクライナ侵攻が行われ、恒久的平和が脅かされております。申し合わせにより副議長は一般質問できませんが、山積する課題解決と、元気みなぎる都城の実現に向け、3期目も更に更に走り、動き、伺ってまいります！より一層のご指導、ご支援を宜しくお願い致します。都城市議会議員 川内賢幸



【令和4年度一般会計予算成立・6月補正可決】

2月22日から3月22日まで、3月議会が開会されました。本議会では、令和4年度の一般会計予算として**936.8億円**（前年比7.7%増）が計上され、昨年度を上回る過去最大の予算となりました。令和4年度予算では「**新型コロナウイルス感染症対策**」を筆頭に、より一層のデジタル化の推進、本市が持つ3つの宝「**農林畜産業の振興**」「**地の利の拡大**」「**人間力あふれる子どもたちの育成**」を輝かせる事業など、本市の未来発展に向けた予算編成となっています。

特に「**デジタル化の推進**」については、昨年度の33事業から77事業に増やし、デジタル化の恩恵を市民の皆様へ、お届けするため予算・事業ともに拡充されています。より一層デジタル化を進めるため、**デジタル統括課**が新たに設けられました。

さらに、行政組織の再編も行われ、市民生活部が新たに「**地域振興部**」に変わりました。この関係で、各総合支所の「**市民生活課**」「**地域振興課**」が統合され「**地域生活課**」へ変わりました。



この度、6月6日から6月23日まで6月議会が開会されました。6月議会では約**24.8億円**が新たに計上されました。

主なものとして、新型コロナウイルス感染症に伴う関連事業、旧商工会館を本庁北別館として改修する事業、プロ野球「**読売巨人軍ファームキャンプ**」受け入れに伴う高城運動公園施設改修事業、ウクライナ避難民支援事業、都城市プレミアム付スマイル商品券発行事業等が提案、可決されました。

SMILE CITY MIYAKONOJO 令和4年度 当初予算の姿

“スマイルシティ 都城・未来発展予算”

- 一般会計当初予算額 **936.8億円**（前年度比7.7%増）
特別会計：407.1億円（2.0%減）、企業会計：117.6億円（2.0%増）、全会計：1,461.5億円（4.4%増）
- マニフェストを踏まえた予算配分
 - ◆ 新型コロナウイルス感染症関連対策
 - ◆ デジタル化の推進！
 - ◆ 3つの宝を、より一層輝かす！
 - ◆ 重要施策の推進！
 - ◆ 市民サービスの更なる向上！
 - ◆ “肉と焼酎のふるさと・都城”の対外的PRの更なる推進！

第2次都城市総合計画
“南九州の拠点都市＝リーディングシティ”の確立！
“笑顔あふれるまち＝スマイルシティ 都城”の実現！

市民の幸福と市の更なる発展の実現！

SMILE CITY MIYAKONOJO 令和4年度 6月補正予算のポイント

- 一般会計6月補正予算額
2億9,012万9千円【先議分】+7億9,772万6千円【通常分】
＝**1億8,785万5千円**（補正後予算額 9,43億6,632万2千円）
- 主な事業
 - 1 新型コロナウイルス感染症・原油価格高騰高騰関連…5億7,643万円（12事業）
 - 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業関連…2億9,012万9千円【先議分】
 - ・ 低所得の子育て世帯（児童扶養手当受給者等）に対し、児童1人当たり5万円を給付
 - 新型コロナウイルススワクチン接種費…1億8,542万5千円
 - ・ 4回目接種に要する経費
 - 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業関連…5,709万円
 - ・ 申請期間延長に伴う生活支援金及び福祉ケア避難民支援基金積立金（指定寄附金活用）
 - 小・中学校の新型コロナウイルス対策関連…4,375万6千円
 - ・ 消毒液等の保健衛生用品及び教育活動と感染症対策との両立に必要な教材費等の購入 外
 - 2 本庁舎北別館改修整備事業…1億2,991万円
 - ・ 旧商工会館を本庁舎北別館として改修整備
 - 3 ウクライナ避難民支援関連事業…1,814万3千円
 - 4 プロ野球キャンプ受入関連事業…5,890万6千円
 - ・ プロ野球のキャンプ受入れに必要な経費及び高城運動公園施設改修等
 - 5 【特別会計】工業用地造成事業（都城インター第3工業団地）…1億2,993万2千円
 - ・ 新たな工業団地の用地取得等に要する経費

大型インフラ整備が着々と進んでいます！！

◎県立競技場着々工事！

2027年に開催される予定の第81回国民スポーツ大会、第26回全国障害者スポーツ大会の会場となる新県立陸上競技場。施設の完成は2024年度（令和6年度）を見込んでいます。令和4年度は、第3団地2棟目完成、補助競技場の建設工事開始。



【第3団地2棟目は8月完成】



【1種競技場建設地の様子】

◎山之口駅整備事業

国民スポーツ大会に向けて、まちの玄関口となる山之口駅等をリニューアル。県立陸上競技場へとつながる、駅前の市道の歩道等も整備されます。令和4年度は用地取得などにとりかかります。事業期間は令和7年度までを予定しております。



▲現在の駅前の様子
◀整備イメージ

◎山之口総合支所を複合施設へ

山之口総合支所を複合施設として改修する工事が始まりました。改修範囲は、地区公民館、勤労福祉センターです。工事完了は令和4年度内、令和5年度4月からの供用開始を予定しています。その後、旧総合支所解体、広場整備。新名称は山之口総合センター。



【地区公民館を総合支所へ改修。現在の建物は防災広場へ改修予定】



◎新「道の駅都城」整備進む！

「道の駅都城」を、本市の物産振興拠点施設として大幅にリニューアル。物産振興と交流人口の拡大による地域活性を目指します。完成は令和5年度予定。直売所、レストラン、イベント広場、キッチンスタジオ、情報発信施設、木製遊具広場。防災道の駅認定。



【新道の駅は、地場産業センターを解体して跡地に建設中。】

◎中心市街地複合施設完成！

令和4年4月29日に大丸跡地の民間開発部分の複合施設がついにグランドオープン。1階にはスーパーマーケット、2階はテナントスペース、3階にレストラン、4階～7階はホテルで全93室。都城市の新たなランドマークの完成です。



【ホテル名称はTERRASTA。スーパーやレストランも備える】



◎都城運動公園も大規模改修

令和9年開催予定の国民スポーツ大会に向けて、都城運動公園を大規模改修。特に、ソフトテニス成年男女の会場となるため、テニスコートを16面整備。更に、災害時には緊急活動拠点や備蓄倉庫として活用できる屋内競技場を野球場北側に新たに整備。



【テニスコートを新たに整備。北側に防災機能を有する屋内競技場】

◎関之尾公園リニューアル事業。指定管理予定者が決定！

令和6年度（2024）にリニューアル開業を目指している、関之尾公園について指定管理予定者が決定しました。

予定者となったのは「**風憬社・スノーピーク・黒岩建築設計**」共同体。このうち、スノーピークはアウトドア製品の開発や製造、販売を行う日本を代表する会社です。全国に約68万人の会員数を有し、全国9拠点でキャンプ場の管理運営も行っています。本施設の開業で、同社が管理運営するキャンプ場としては、南九州初となり、宮崎県内では唯一のキャンプ場となります。



ロシアのウクライナ侵攻に関する非難決議を採択

3月7日(月)の一般質問初日に、議員提出議案第1号として議案上程。議案提出となることから副議長による提案理由説明に臨み全会一致で可決。

ロシア軍のウクライナ侵略に強く抗議し、恒久平和を求める決議

全ての人々が恒久的な平和を切望する中、ロシア軍は2月24日、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な侵攻を開始した。また、稼働中の原子力発電所を攻撃したことは許せない暴挙である。そして、今、まさに民間人を含む多くの犠牲者を出している現状にある。

これは、明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略行為であり、断じて容認できない。

よって、本市議会は、ロシア軍によるウクライナへの攻撃と主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちに全ての軍隊を完全に撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、恒久平和に向けた取組みを強く求めるものである。

また、政府においては、邦人の生命・財産の保護や我が国における影響に関する対策について万全を尽くされるよう強く要請する。以上、決議する。

令和4年3月7日

都城市議会



市内全中学校で女子生徒のスラックス選択導入へ！！

昨年6月議会の一般質問で取り上げた、中学校制服のスラックス選択導入が4月より市内全中学校19校で導入されています。

これは、男子はズボン、女子はスカートという長年導入されていた慣例を変え、性の多様性の観点はもちろんのこと、動きやすさや防寒といった機能面の向上を図ることを目的として導入されます。

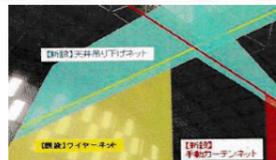
導入されたスラックスは通常のものに加え、女子生徒の体形に合わせたタイプも用意されています。



▲昨年6月議会での質問様子

◀今回導入された制服

| 整備項目 | 工期 |
|-----------------|--------------------------------|
| 仕切りネット4分割 | 6ヶ月 |
| 仮設ブルベンの設置 | 2人立ち、フラックスファイブ、1か月 |
| 壁面を遮断系に塗装 | 壁が白系→赤・黒が見えない、地上から7.3mまで塗装が必要 |
| 移動ネットの購入 | 屋内・野球場・サブグラウンドに必要 |
| ワイヤーカーテンネット | 3.5m×36.5m |
| ゴムマットの設置 | リースの場合、2週間(屋内、野球場) |
| 机、イス、パーティションの設置 | リースの場合、2週間(屋内、野球場) |
| タガアウト内ベンチ交換 | アルミ製ベンチ高付き12脚 |
| 壁・天井の洗浄 | 全室の壁・天井の洗浄、玄関口の塗装も含む |
| 通路の照明修繕 | 通廊照明器具・ホール器具(計19台)の取替え |
| トイレの修繕 | 湯便浄化、小便器・大便器の改修、壁の塗装 |
| 室内・通路等修繕 | 木部腐敗部材の取替 |
| サブグラウンドの整備 | 面積約1,600㎡、東土20cm(+排水のための石10cm) |
| 仮設ブルベンの設置 | 4人立ち、フラックスファイブ、1か月 |
| プレハブの設置 | 最低ライン：食堂50㎡、更衣室30㎡、1か月 |



巨人軍ファームキャンプ決定！49年ぶり！！

6月議会において、読売巨人軍のファームキャンプ決定が発表されました。予定時期は令和5年2月。主に3軍のキャンプと言われておりますが、本市で巨人軍ファームがキャンプを行うのは1963年、65年、69～74年にキャンプを行って依頼、実に49年ぶりとなります。

これに伴い、会場となる高城運動公園の整備を行うため5800万円の補正予算が計上されました。主な整備項目として、サブグラウンド整備、ワイヤーネットカーテン、仮設ブルベン、屋内競技場ネットを予定しています。このキャンプを足がかりに、スポーツランド都城の推進や更なる地域活性化が見込まれます。

市役所の男性トイレ（1階と2階）にサニタリーボックスが設置されました！



今年の2月ごろに市民相談を受けて、公共施設の男性トイレへのサニタリーボックス設置を要望しておりました。担当課へは、設置要望とともに、先進地の情報提供等を複数回行い、設置に向け取り組んでまいりました。これまで設置施設は0ヶ所でした。

この度、6月議会で同僚議員と連携した一般質問に対して、市役所本庁舎において試験的に設置することが決まりました。

男性トイレへのサニタリーボックス設置は、前立腺がん等の病気によって尿漏れパッドを必要とする方々の声をきっかけに、全国で取り組みが始まっています。

水田利活用直接支払交付金の見直しに関し支援体制の整備を求める意見書を提出

令和4年4月から、水田活用の直接支払交付金の見直しが行われました。この見直しでは、農家の努力が報われる項目が追加された一方で、交付対象の水田について、令和4年度から今後5年間で一度も米を作つけない水張りを行わない水田を支援の対象外とする方針が決定しております。

この方針については、長年にわたり国に協力し、産地づくりに取り組んできた農家から、新たな圃場整備や支出が必要となる、ブロックローテーションによる作付が困難、その他制度対応が著しく困難であるといった困惑の声が聞こえております。

このままでは、交付対象外となった農地が耕作放棄地となる懸念や対応の困難を理由に離農につながることも考えられ、国土保全の観点からも、今回の見直しが必ずしも制度の目的に合致していないとの声が現場から寄せられており、国に対して下記の項目を意見書として提案し提出しました。

- 今回の見直しに伴い、集められた都道府県ごとの意見について、現場の声をしっかり受け止め確実な制度検証と改善を行うこと。
- 今回の見直しに従い、魅力的な産地づくりに意欲的に取り組む農家について、目的を果たすことができるよう圃場整備やその他支援を含め、施策の充実や予算拡充を行うこと。
- 今回の見直しに伴い、影響の出る産地に対し、国土保全や安定した食糧確保の観点から、持続可能な水田農業の将来像を描くことができるよう、情報の共有や提供、支援などを行うこと。



川内 賢幸 議員(青雲)

◎ふるさと納税活用事業

令和3年度(4月～12月)の寄付額：127億6992万円。

令和2年度は135.2億円。3度目の日本一(平成27年度、平成28年度)となりました！

当初予算では102億円、249事業に活用。残金約26億円は、今後の補正予算で活用予定。

| 寄附目的 | 活用事業数 | 寄付額 | 寄附目的 | 活用事業数 | 寄付額 |
|-------------|-------|------|---------------|-------|------|
| 子ども支援 | 114 | 48億円 | 長寿支援 | 9 | 3億円 |
| まちづくり支援 | 5 | 5億円 | 災害対策支援 | 33 | 5億円 |
| 環境支援 | 26 | 7億円 | 人口減少対策支援 | 9 | 2億円 |
| スポーツ・文化振興支援 | 14 | 3億円 | 指定なし(市長におまかせ) | 39 | 30億円 |



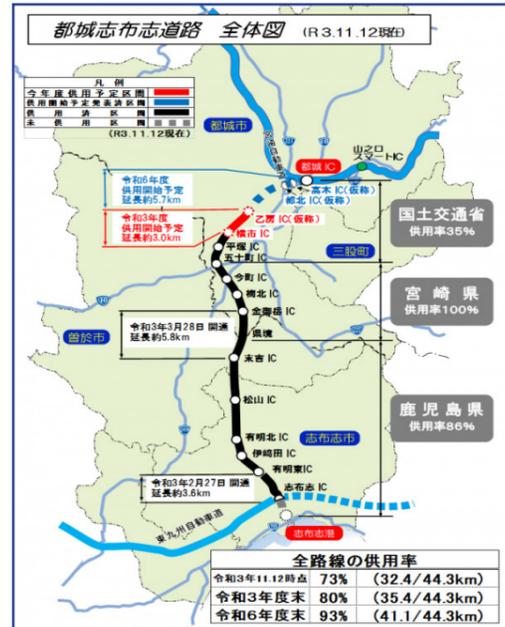
◎地の利の拡大(都城志布志道路)

令和6年度に都城ICまで開通見込み！！

都城志布志道路は総延長44kmの高規格道路(無料)です。全線開通すれば、都城～志布志が70分から40分に短縮されます。

令和4年3月12日に(横市IC～乙房IC:3km)が開通し、開通率は8割となりました。

また、令和6年度には(乙房IC～都城IC:5.7km)が供用開始予定と発表があり、これにより本市の区間は全て開通することになります。



【乙房IC～横市IC】



【横市IC～乙房IC】



【令和6年度開通目標】



【最近の活動報告】



【早朝の辻立ち】



【消防団活動】



【相談・要望に対する現場調査】



【どんぐり1000年の森をつくる会活動】



【街頭演説：宮崎市】



【大淀川サミット活動：外来植物駆除】



【小学生議会見学対応：石山小】



【研修セミナー受講：東京】



【四半の大会参加】



【小学生遠足引率：薩摩古道】



【子牛セリ・乳子市】



【こども食堂・宅食 米作り】